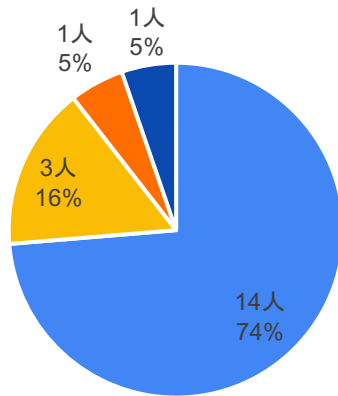


1.お立場

- 地域包括支援センター
- 相談支援事業所
- 就業・生活相談支援事業所
- 区役所



申込人数 45名

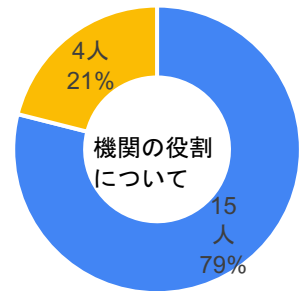
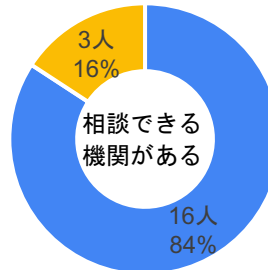
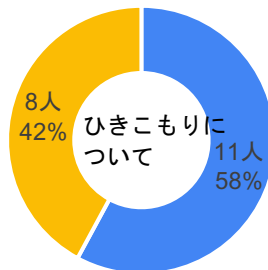
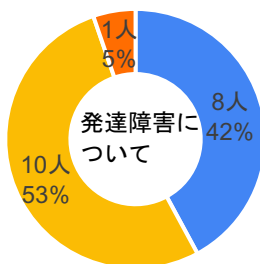
回答数 19

回収率 42% (推定※)

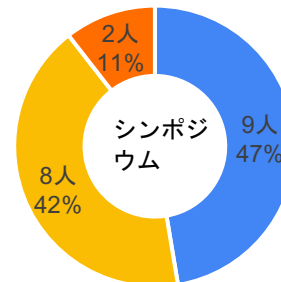
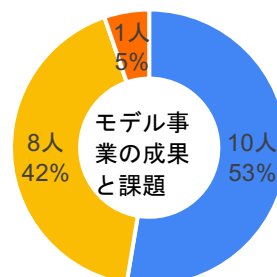
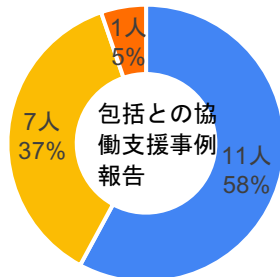
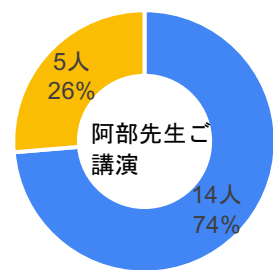
※youtubeでの公開だったため、正確な参加人数の把握が不可能なため。スタッフや講師等も含めた最大視聴数は49名

2.受講前と比べていかがですか

- よくわかった
- 少しわかった
- 変わらない



3.お聞きになっていかがでしたか？



- 非常に満足
- 満足
- 普通

4.感想、今後の研修の希望などをお聞かせください

・お世話になっております。「事業を少しはみ出す」ことの必要性について改めて考えさせられました。まずは、できるところから包括さんと相談しながら始めていければと思いました。また、阿部先生の「人を孤立させてしまう社会からの脱出が本当のゴール」に、本当にそう思いました。ありがとうございました。

・コロナ禍のウェーブ研修開催頂きありがとうございました。支援者としては、日々業務に追われると、支援に行ずまってしまうことがあります。その中で各専門分野のお話を聞けることで、日々の支援の糸口のきっかけにつながります。

ぜひ今後も何かの機会にこのような研修を続けて頂ければ幸いです。

・家族で、キーパーソンが不在の場合、対応に苦慮しております。長いスパンでの支援となること、今回の研修で、相談先として、役割を知ることができました。今後ともよろしく願いいたします。

・多機関での関わりが必要と学ばせて頂きました。事例に携わった際は御相談させて頂くかもしれませんので、よろしくお願い致します。

・新型コロナで大変な中、研修準備などお疲れさまでした。今後どうぞよろしくお願い致します。大変良い研修だったと思います。

4.感想、今後の研修の希望などをお聞かせください（続き）

・どの講義も具体的で分かりやすく、シンポジウムも現場の本音が聞けて良かったです。燃えすぎず、燃え尽きない程度に支援を継続しよう!と、モチベーションを上げる機会となりました。ありがとうございました。

・本日はありがとうございました。どうしても仕事柄、引きこもりの方の相談を受けると、障がいありき…という頭で入って行ってしまいがちでどうしてもなんらかの障がいに繋げて考えてしまう傾向があります。地雷も踏んできましたし、本人が何を望んでいるのかが見えてこず、頓挫してしまった事もありますが今回の研修でまた少し違った支援のアプローチが見えてきましたし、相談場所も分かったので生かしていければと思います。

・高齢者世代の課題解決を支援する中で、50世代の課題解決を並行していく必要性があり、つい何かしらの支援につなぐことを急いでしまったケースもありました。まさに「誰の課題か」を整理し世帯をご支援していく必要性を学ばせていただきました。ありがとうございました。

地域包括支援センターでは発達障がいの特性をお持ちでは?と考えられるご家族がキーパーソンとなっている高齢者世帯の支援での難しさを感じるケースがあります。また、発達障がいの特性をお持ちと考えられるご本人が高齢期を迎え、支援の対象者として支援する中で難しさを感じたり、配偶者の方が当事者との接し方で長年苦慮されてきたお話を聞く機会などもあります。8050の枠組みに限らず、発達障がいの特性をお持ちである方への支援について学ばせていただく機会を作っていたら大変幸いです。

本日は多くのことを学ぶ貴重な機会を作っていただきましたことを心より感謝しております。ありがとうございました。また、今後も引き続きどうぞよろしく願いいたします。

・今回、包括職員の理解のために、発達障害のほうにクローズアップした内容でした。たいへん参考になりました。ありがとうございます。話を聞きながら思いましたが、長期化した結果80代の介護問題を解決しなくてはならないとき、その家族問題としてひきこもり(社会性がない、健康問題や生活の問題がある方)の支援をしなくてはならないとき、介護問題はあまり時間をかけられないという支援の特性があります。今、弱っている、今認知症が進行している、今転倒して入院し役割が担えないというとき、ひきこもりの家族としてゆっくりと時間をかけて親をひきこもり問題の解決の一役として任せられない時が多々あります。またケースにもありましたが、親介護問題が解決した後の子供の独居生活支援も残ります。そのような視点でお話があるとまた包括と障害の相互理解ができそうです。同じ支援者として分野を超えて同じ思いなんだなぁと心強く思いました。

・おがる石田さんのまとめで「縦割りでは解決できない」という話には非常に同感です。「これはうちの対象ではない」というのは簡単ですが、「じゃあ誰が支援するのか」が決まっていなければ、結局はクライアントの不利益になります。

今回までの2回の研修受講しておりましたが、ようやくおがるがコンサルがメインで、ひきこもりの方を継続的に支援する機関がないことがわかりました。2022年度に整備される計画である基幹型地域包括支援センターがその部分を担っていくのかわかりませんが、行政としてこの問題をどうするか考えて頂ければと思います。本日はありがとうございました。

・8050の現象は、居宅介護支援事業所で担当している利用者様の中にも現れる事なのかと思っている。そのようなケースを包括支援センターとしてもっと相談を受け、把握し個別地域ケア会議を開催したり、関係機関につなぐ事が必要である事を学び、また、皆様を個別地域ケア会議に参加して頂く事も必要と思った。個別地域ケア会議を開催した内容を行政にあげていき、包括支援センターが行える社会を動かす事なのだと思います。

今後、共生社会の実現を目指すために、包括支援センターに課せられた課題だと本日の研修で認識できた。包括支援センターの目線ではない方向から見る事ができた研修で大変勉強になった。今後も、機会があれば参加したい。

・日頃の業務でも、ひきこもりの事例に関わることがあり、本人や家族に対する関わりの視点を学べたことは、大変良かったと思います。また、このように多くの関係機関が関わってくださることを心強く感じました。これからも更に学びを深め、皆さんと連携しながら支援できたらと考えています。今日は本当にありがとうございました。